

# 小川豎小路線道路築造工事施工の工期短縮と工程管理

(一社)静岡県土木施工管理技士会

株式会社 橋本組

土木部 作業所長 松永利明

Toshiaki Matsunaga

## 1. はじめに

### 工事概要

工事名 平成23年度 小川豎小路線道路築造工事

発注者 焼津市役所 区画整理課

工事場所 焼津市 東小川土地区画整理地内

工期 自)平成23年8月 5日

至)平成24年1月16日

工事概要 施工延長=255.8m

土工 1.0式 排水工 1.0式 舗装工 1.0式 構造物取壊工 1.0式

本工事は、県道静岡焼津線(旧国道150号線)と小川下小田線を東西に縦断している小川豎小路線を区画整理事業により、拡幅する工事であった。

工事発注後に、本線の左右に配水管及びガス管の埋設工事が発注され、埋設管工事が完了しないと本工事の施工が出来ない状態となり、工期内に完成するための工期短縮と工程管理を必要とされた。



## 2. 現場おける問題点

- 1)本工事の発注後に配水管及びガス管布設工事が別発注され、埋設管の工事が完了しなければ本工事に着手出来ない状態となった。
- 2)架空線(電気・NTT)及び電柱の移設予定が決まらず、作業工程が決まらない。
- 3)土工時で発生する発生土の処分先が未定で着手できない。
- 4)住宅街で中学校に近接強いてるため、全面通行止め規制での施工が困難であり、通常の交通を確保しながら、作業をしなければならない。
- 5)施工期間が年末・年始を含むため、作業工程を検討し安全管理を重視した工程計画で作業を進めなければならない。
- 6)工事区間のほとんどが、民家又は駐車場であったため通路の確保が困難である。

## 3. 対応策・工夫・改良点

- 1)追加発注の配水管及びガス管布設工事が早期に完了するよう、発注者と施工方法を協議し配水管・ガス管布設の土工を一度に行い配管は同時施工した。
- 2)地下埋設物の移設・撤去工事また架空線・電柱移設工事の作業工程については、発注者と工事関係機関を含め綿密な工程打合せを行い、手待ち・手戻りの防止に努めた。
- 3)現場発生土は近隣で施工している、県土木事務所の盛土工事に流用出来るよう、発生土の土質試験を行い、盛土材に適合することを確認し流用土として処分した。
- 4)歩行者・自転車の安全を確保するため、通学路や交差点に交通整理人を配置し安全確保に努めるとともに、交通渋滞による工程遅延が発生しないようにした。
- 5)施工区域が民家や駐車場で有るため、一度に施工出来る範囲が限られるため、近隣の空き地及び駐車場を賃借し、仮駐車場を確保し施工ヤードを確保した
- 6)排水工で施工する集水柵は通常現場での型枠組立・コンクリート打設・設置の手順で行うが工程を短縮させるため、工場生産の製品を使用した
- 7)夕方から夜間に掛け、バルーンライトを設置し夜間まで安全に作業できるようにし、作業時間の延長を図った。

## 4. 終わりに

今回の工事を受注し施工条件を確認した段階で、どのような方法で工事を進めれば工期内完成できか交通量の多い現場の安全をどのように確保するかを第一に考えました。

各種の工事が錯綜する中、関係機関、施工業者間の連絡調整を密に行い互いの工事が滞りなく進行させることが、重要であることを痛感しました。

以上の事柄を確実に実施した結果、工事区域内の安全も確保され一般車両との接触事故や交通への悪影響もなく工期内に工事を終了する事が出来た。